

延岡市職員採用試験（前期日程）受験申込書

テストセンター用

（履 歴 票）

試験区分	1 一般事務職Ⅰ（大卒程度） 2 土木技術職（大卒程度） 3 建築技術職（大卒程度） 4 機械技術職（大卒程度） 5 化学技術職（大卒程度） 6 土木技術職〔社会人経験者〕〔免許・資格職〕 7 学芸員〔歴史・民俗〕〔免許・資格職〕 8 学芸員〔美学工芸〕〔免許・資格職〕	※ 受験番号	
	受験職種の番号を○で囲んでください	() - 番	
ふりがな		性別	生年月日（○で囲む）
氏名			昭和 年 月 日 平成 年 月 日 (令和3年4月1日現在 満 才) ●来年の4月1日の年齢を記入
フリガナ			
メールアドレス	@ ※パソコンもしくはスマートフォンのメールアドレスを記入してください。 ※フリガナについては、必ず試験案内の4ページの記入例を参照してください。		
受験票等送付先（現住所等）	〒 - 電話番号1 (- -) 電話番号2 (- -)		
連絡先（帰省先等）	〒 - 電話番号 (- -)		
最終学歴	学校名 <注意>5参照	学部名	学科名
			在学期間 平成・令和 年 月 卒業・卒業見込・ 平成・令和 年 月 () 年在学・中退
学芸員の受験者のみ記入		学芸員資格の取得時期	
学芸員資格	資格取得時期または取得見込時期を記入すること	時期(年 月 取得・取得見込)	
履修科目	履修した科目の番号を○で囲むこと	1. 「歴史学」 2. 「日本民俗学」 3. 「美学・美術史」	
受験時の要望事項			
上記のとおり相違ありません。 令和2年 7月 日			
延岡市長 読谷山 洋司 様 氏名 印			

- <注意> 1 ※印欄を除く必要欄に、自筆によりかき書ではっきり記入してください。
2 記入は黒か青のインク又はボールペンを使用し、数字は算用数字を用いてください。
3 記載事項に不正があると、職員として採用される資格を失うことがあります。
4 「年齢」は来年の4月1日時点の年齢を記入してください。
5 「最終学歴」については最後の学歴ではなく、最も高い学歴について記入してください。
6 押印が漏れていないか確認をお願いします。

▼. 土木技術職〔社会人経験者〕の受験者は、受験資格に関することについて、裏面に記入してください。

延岡市職員採用試験（前期）

写 真 票

試験区分	
1 一般事務職Ⅰ（大卒程度） 2 土木技術職（大卒程度） 3 建築技術職（大卒程度） 4 機械技術職（大卒程度） 5 化学技術職（大卒程度） 6 土木技術職〔社会人経験者〕〔免許・資格職〕 7 学芸員〔歴史・民俗〕〔免許・資格職〕 8 学芸員〔美学工芸〕〔免許・資格職〕	
※ 受験番号	() - 番
ふりがな	
氏名	
性別	

写真貼付欄

縦4cm・横3cm

最近3ヶ月以内に撮影
(上半身・脱帽・正面向)
したもので本人と確認できるもの

(注) 申込の際に写真を貼っていないものは受け付けません。

※ 確認	第2次	第3次		
	Web面接	専門	小論	面接

延岡市職員採用試験（前期）

受 験 票

試験区分	
1 一般事務職Ⅰ（大卒程度） 2 土木技術職（大卒程度） 3 建築技術職（大卒程度） 4 機械技術職（大卒程度） 5 化学技術職（大卒程度） 6 土木技術職〔社会人経験者〕〔免許・資格職〕 7 学芸員〔歴史・民俗〕〔免許・資格職〕 8 学芸員〔美学工芸〕〔免許・資格職〕	
※ 受験番号	() - 番
ふりがな	
氏名	
性別	

延岡市総務部職員課

☎882-8686

延岡市東本小路2番地1

Tel 0982-22-7007

※この「受験票」は第1次試験の合格者に送付します。

「土木技術職〔社会人経験者〕〔免許・資格職〕」受験資格記入欄

土木技術職〔社会人経験者〕〔免許・資格職〕を受験する場合、以下の内容をご確認ください。

● 受験資格

次の要件のいずれにも該当する者。

- ① 平成27年7月1日から令和2年6月30日までの間に、民間企業などにおいて通算3年以上の土木技術に関する「計画」・「設計」・「施工管理」のいずれかの実務経験を有する者。
- ② 2級以上の土木施工管理技士資格を有する者、または令和3年3月31日までに資格取得見込みの者。

※①実務経験期間について

- ・ 会社員、公務員、団体職員などの正規社員または正規職員(有期雇用、嘱託、臨時、アルバイト、パートタイムなどは除く。)として、同一事業所で1週間につき、30時間以上の勤務を6か月以上継続して就労していた期間のうち、土木技術に関する「計画」・「設計」・「施工管理」のいずれかの実務に従事した期間が該当し、それらの実務経験のみ、期間を通算することができます。
- ・ ただし、連続する1か月以上の休業(病気休暇・休職、育児休業、介護休業など)により実際に業務に従事しなかった期間がある場合は、就業規則などで認められたものであっても、就労が中断されたものとみなし、継続して就労していた期間とはなりません。
- ・ 通算3年以上の実務経験期間が必要です。6か月以上継続して就労していた期間が複数ある場合は、そのうちの実務経験期間を通算することができます。また、同一の期間に複数の事業所で実務に従事した場合は、重複している期間のいずれか一方を実務経験期間とします。

① 平成27年7月1日から令和2年6月30日までの間で、民間企業などにおける通算3年以上の土木技術に関する「計画」・「設計」・「施工管理」のいずれかの実務経験期間を記入してください。

受験資格に該当する実務経験期間	在職期間	受験資格 該当日数	勤務先名	職務内容(簡潔に)	一週間の 勤務時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	平成 令和 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日			時間
	(注) 左記内容を参照のうえ、記入してください。				

② 2級以上の土木施工管理技士資格の種類を○で囲み、取得時期(見込)を記入してください。

土木施工管理技士	資格種類を○で囲むこと		資格取得時期または取得見込時期を記入すること
	1級	2級	(年 月 取得 ・ 取得見込)